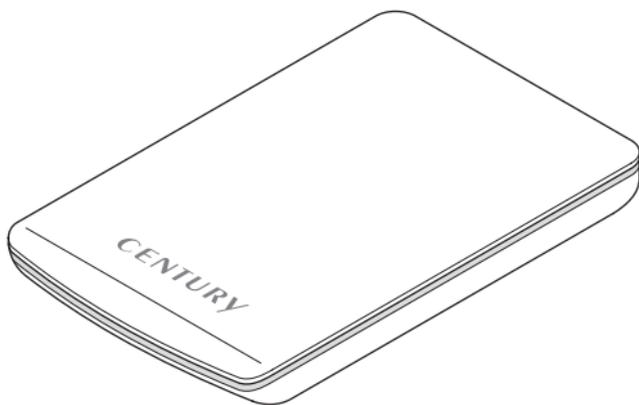


1分BOX2.5SATA BLUE LINE

CBL25U2
取扱説明書



CENTURY

【はじめに】

このたびはCBL25U2をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- ・浴室、温泉、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- ・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- ・火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
- ・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- ・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- ・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- ・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- ・直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上のご注意	i
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応HDD/SSD	3
■ 対応機種	3
■ 対応OS	4
■ HDD/SSDの組み込み方法	5
■ PCとの接続方法	9
■ Windowsでの使用方法	11
・ Windows 8、Windows 7、Windows Vistaの場合	12
・ Windows XPの場合	17
■ ハードウェアの取り外しについて	23
■ Macでの使用方法	25
■ 東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について	27
■ トラブルシューティング	29
■ FAQ	31
■ サポートのご案内	35

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品はシリアルATA HDD組み込み用製品です。
- ・本製品からのOS起動はサポートしておりません。

【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただけますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- ・Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・レグザ および REGZA は株式会社東芝の商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



注意

静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

- 型 番：CBL25U2
- 商 品 名：1分BOX2.5SATA BLUE LINE
- インターフェイス
 - デバイス側：USB2.0
 - ホスト側：SATA I/II/1.5/3.0
- USBコネクタ形：mini B 5ピンタイプ
- 寸 法：幅84×高さ14.5×奥行135mm（突起部含まず）
- 重 量：約 67g（ドライブ含まず）
- 温 度 ・ 湿 度：温度5～35℃・湿度20～80%
（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）

【製品内容】

- ・ CBL25U2本体 …………… ×1
- ・ 専用USB2.0ケーブル …… ×1
Aタイプ（補助電力コネクタ付） - mini B 5ピンタイプ
- ・ ケース固定用ネジ …………… ×1
- ・ ネジキャップ …………… ×1
- ・ 取扱説明書/保証書（本書）



CBL25U2 本体



専用USB2.0ケーブル



ケース固定用ネジ



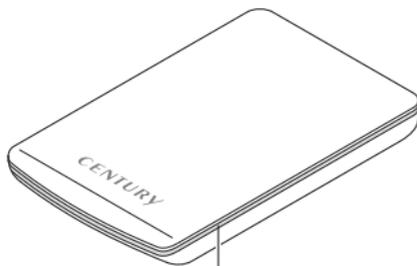
ネジキャップ



取扱説明書/保証書

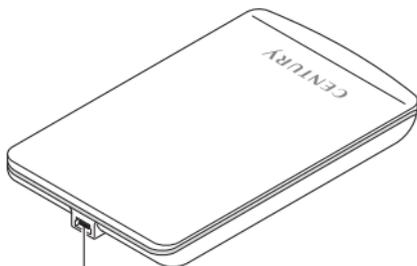
【各部の名称】

〈前 部〉



パワー / アクセスLED
（電源ON…青点灯 / アクセス時…青点滅）

〈後 部〉



USB2.0
miniBコネクタ

【対応HDD/SSD】

<HDD>

■シリアルATA (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps) 仕様の9.5mm厚2.5インチHDD

※IDE (PATA) 仕様のHDDは接続できません。また、2.5インチ9.5mm厚以外のHDDは接続できません。

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB2.0のため、転送速度は480Mbps (理論値) が上限となります。

<SSD>

■シリアルATA (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps) 仕様の9.5mm厚 2.5インチSATA SSD (MLCタイプ、5V駆動)

※1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状 (ASUS EeePC内蔵のSSD等) のSSDは接続できません。

また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

※本製品は2.5インチHDDの形状を基準に設計されておりますので、上部カバー等が通常の2.5インチHDDと異なる形状のSSDは接続できない場合があります。

【対応機種】

<Windows>

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)

■USB1.1インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB1.1モード動作時)

■CPUクロック1GHz/メインメモリ512MB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

※PCMCIA、Express CardのUSBホストインターフェイスカードは、電力の供給が不足して動作しない場合があります。

<Mac>

■USB2.0インターフェイスポートを搭載した

MacPro、iMac、MacBook、MacBookPro、PowerMacintosh G5、PowerBook G4

<東芝REGZA>

■録画用USBポートを搭載したREGZA 8000シリーズ以降のモデル

※ご使用になるHDDは2TB (理論値) が上限となります。

※ケース自体は対応しておりますが、組み合わせたHDDによって正しく動作しない可能性があります。

必ず録画、予約録画、再生、早送り再生を実際にテストした上で実用に移してください。

【対応OS】

<Windows>

- Windows 8 (64/32bit)
- Windows 7 (64/32bit)
- Windows Vista (32bit)
- Windows XP (32bit)

※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE / Windows 3.x / Windows NT / Windows Me / Windows 2000では動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

<Mac>

- Mac OS 10.4~

本製品からのOS起動に関して

本製品からのOS起動はサポートしておりません。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

【HDD/SSDの組み込み方法】

■HDD/SSD接続の前に

⚠ 警告 本製品とPCをUSB接続した状態でのHDD/SSD取り付けは行わないでください。PCと接続した状態で作業を行うと、故障の原因となります。

- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■組み込みの前に

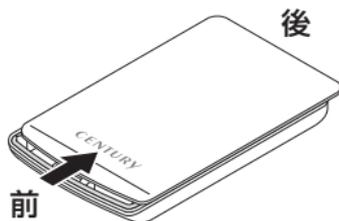
- ・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

⚠ 注意 ・フレームやHDDコネクタで手を切らないようにご注意ください。

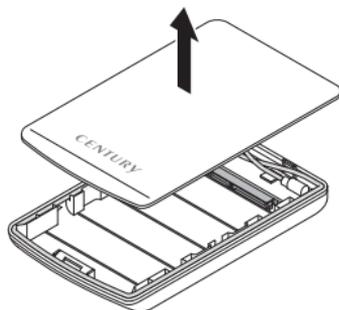
■組み込みの手順

1. 上面カバーを取り外します。

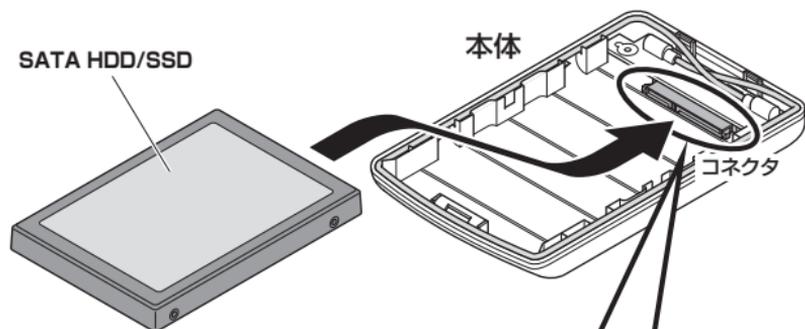
①上面カバーを後ろにスライドする



②本体から取り外す

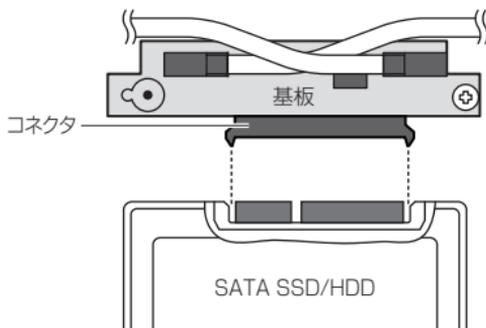


2. 本体のコネクタにHDD/SSDを取り付けます。
コネクタは破損しやすいので、十分に気を付けて取り付けを行ってください。



⚠ 警告

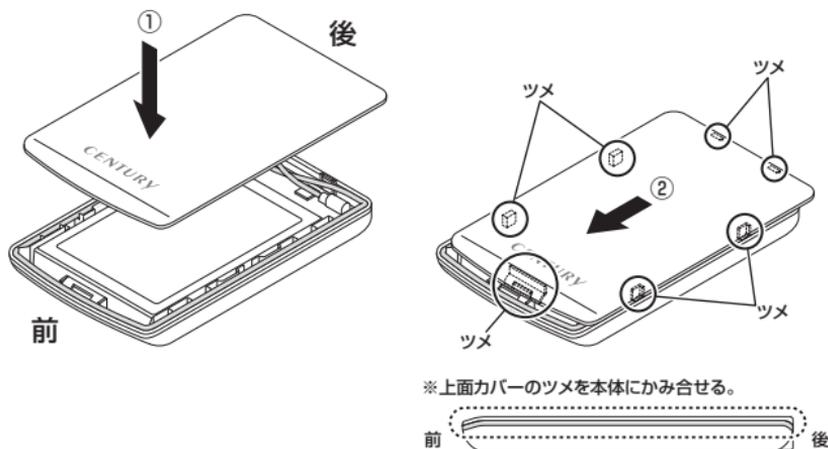
HDD/SSDをコネクタに半差した状態で通电すると、ディスクや基板が破損します。間違いなく奥まで正しい位置に接続するように気を付けてください。



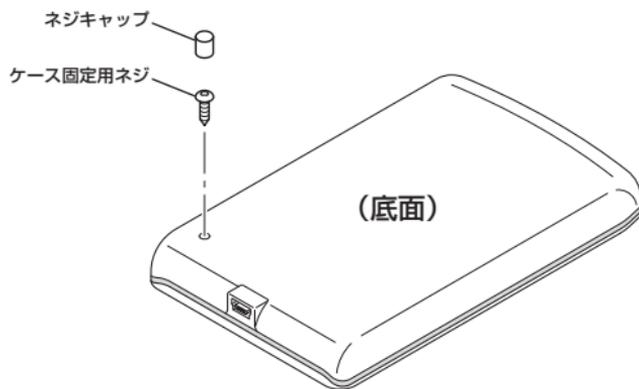
HDD/SSDをコネクタに半差した状態で通电すると、ディスクや基板が破損します。間違いなく奥まで正しい位置に接続するように気を付けてください。

【HDD/SSDの組み込み方法】

3. 上面カバーを本体にかぶせて (①)、後ろから前にスライドして取り付けます (②)。またこのとき、上面カバー裏側のツメの部分が本体にかみ合うように取り付けてください。



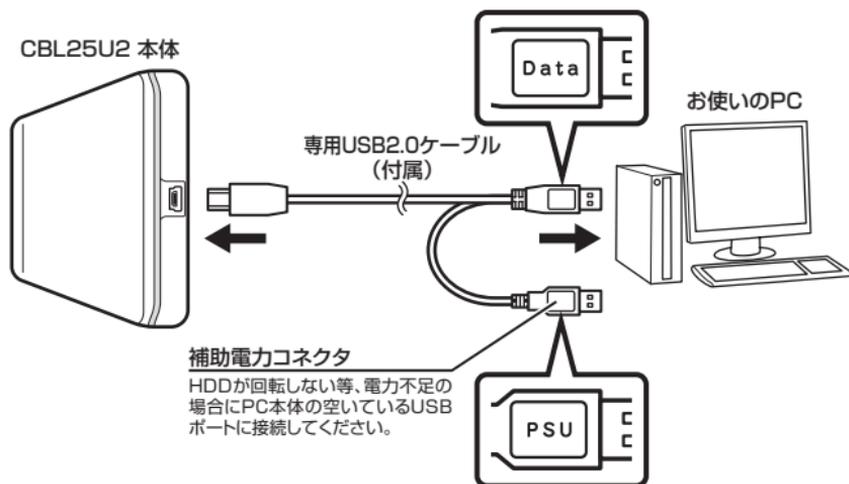
4. 必要に応じて底面からネジ止めし、ネジキャップを取り付けます。



※HDD/SSDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

【PCとの接続方法】

・ご使用になるPCに接続する際は付属のケーブルを用い、下図を参考に接続してください。



■スリープモードについて

- ・本製品は、組み込んだHDDに10分以上アクセスがない場合スリープモードに入り、HDDの回転が停止します。
※パワー/アクセスLEDはスリープモード時に消灯します。
- ・HDDにアクセスを再開すると、スリープモードが解除されます。
※スリープモード時も多少の電力を消費しますので、長時間使用しない場合は本製品を取り外すことをおすすめします。

【Windowsでの使用方法】

■ドライバのインストール

- 1 : Windowsを起動します。
- 2 : PCに本製品を接続します。
- 3 : PCが自動的にWindows標準のドライバを検索してインストールします。すでにフォーマット済みのHDDを組み込んだ場合は、マイコンピュータにHDDが認識されます。フォーマットされていないHDDを接続した場合は、領域の確保とフォーマットが必要ですので、下記「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

■内蔵したHDDをダイナミックディスクでフォーマットしていた場合

ダイナミックディスクは取り外しのできない内蔵用を前提としたディスクの容量確保形式ですので、本製品のような外付けHDDケースにダイナミックディスクでフォーマットしたHDDを内蔵すると、データの認識ができない等の不具合が生じる場合があります。

この場合、HDDのデータを別の場所にバックアップを取り、ベーシックディスク形式でフォーマットしなおしてご利用ください。



ダイナミックディスクかベーシックディスクかを確認するには、P.12「ディスクの管理」画面にて確認できます。

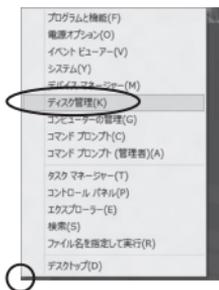
■領域の確保とフォーマット

注意！ : この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する前提での操作を説明しています。

パーティションの分割等の操作については、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

■Windows 8、Windows 7、Windows Vistaの場合

1.



□Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

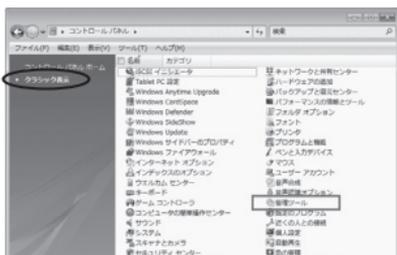
その後は次ページ(手順3)にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法:小さいアイコン®】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

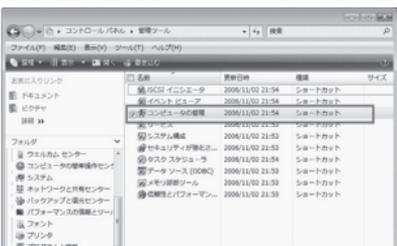


□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示®】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

[Windowsでの使用方法]

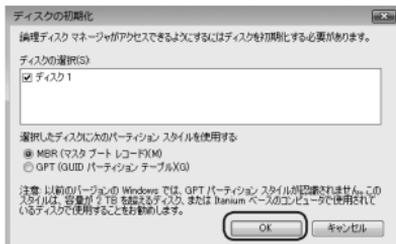
3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします

※パーティションスタイルについて

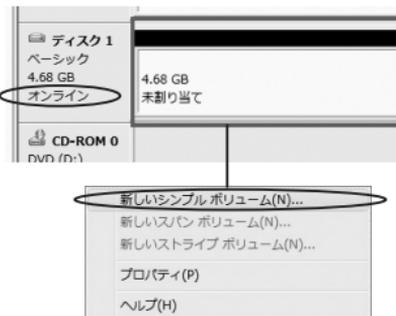
2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。

また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。

GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはバスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

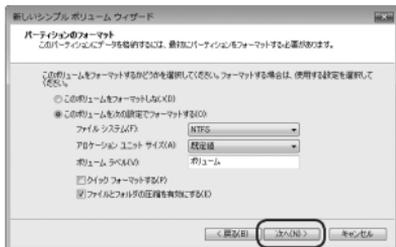
特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【Windowsでの使用方法】

9.

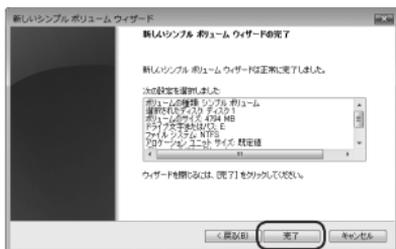


【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- **ファイルシステム**
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
- **アロケーションユニットサイズ**
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。
- **ボリュームラベル**
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
- **クイックフォーマットする**
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

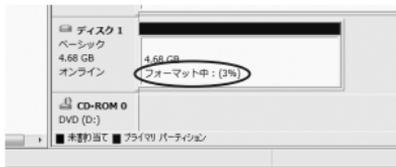
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

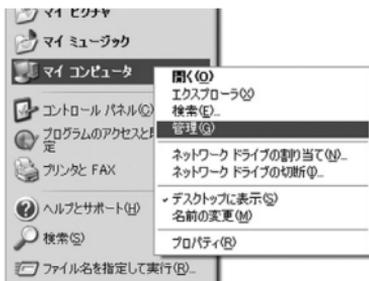
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

【Windowsでの使用方法】

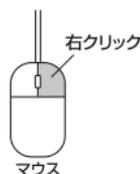
■Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

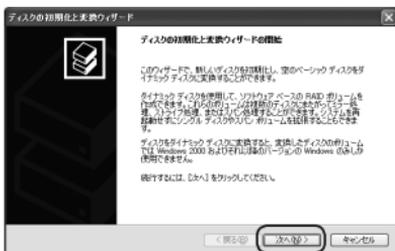
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。



2.



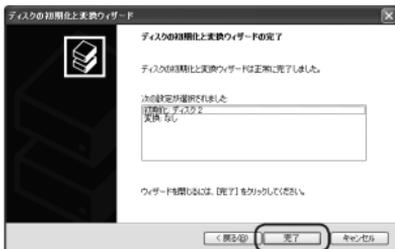
「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウインドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P) ..」を選択します。

6.



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

【Windowsでの使用方法】

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

※ひとつのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

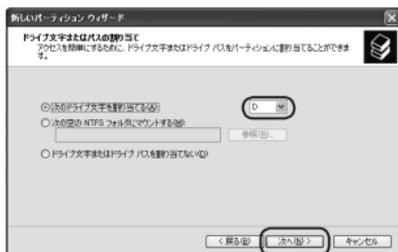


「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.



【ドライブ文字またはバスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

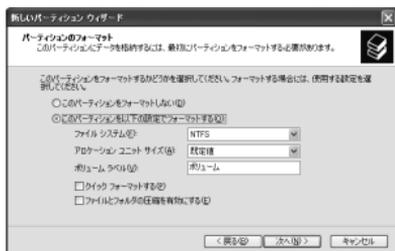
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブバスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をペリファイしませんが、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。

「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。

進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。

使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行っててください。



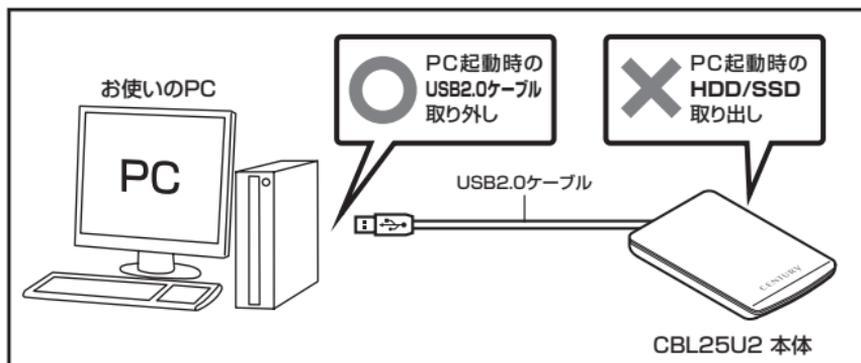
フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。

フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。

故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。



- 1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。
取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP : USB大容量記憶装置デバイス
- Windows Vista : USB大容量記憶装置
- Windows 8/7 : CGL25U3S6G

- 2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
PCからケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。

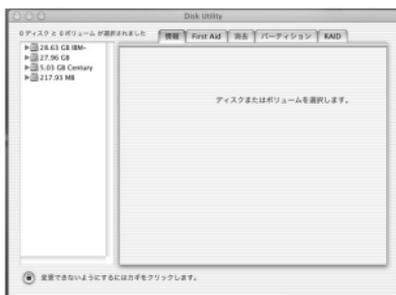
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Macでの使用方法】

Mac OS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

※あらかじめMacフォーマットを行ったハードディスクをSTANDARD（個別認識モード）で使用する場合は、そのまま使用可能です。RAIDでご使用の場合は本章の作業が必要になります。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※ 「Disk Utility」は、アプリケーション> Utilityの中にあります。

左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

<1分BOX2.5 BLUE LINE>は、「xx GB Century」

と表示されます。

(xxは接続したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。パーティション設定を変更できます。

- ・ボリュームの方式
作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。
- ・ボリューム
メディアの分割状況が表示されます。

・ボリューム情報

ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。

「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

・名前

作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

- ・フォーマット
作成するボリュームのフォーマットを選択します。「Mac OS標準」、「Mac OS拡張」、「UNIXファイルシステム」、「空き領域」が選択できます。通常は「Mac OS拡張」を選択してください。
- ・サイズ
作成するボリュームのサイズを変更できます。
- ・オプション
「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」をチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- ・分割
選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- ・削除
選択されているボリュームを削除します。
- ・元に戻す
直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について】

本製品は東芝製液晶テレビ「REGZA（レグザ）」の録画用外付けハードディスクとして使用できます。

⚠ 注意

～ご使用の前に～

- ・本製品をREGZAで使用する際、組み込まれたハードディスクはREGZAの録画専用に初期化されます。PC等のデータが入っているハードディスクを使用する場合は、必ずバックアップを行ってから使用してください。
- ・本製品はREGZA ZH8000シリーズ/R9000シリーズでテストを行い、正常に録画・再生ができることを確認していますが、組み込んだハードディスクによっては正しく動作しない可能性があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作する事を確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・何らかの不具合が発生して録画ができなかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関わる直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■接続方式

USB接続

■対応機種

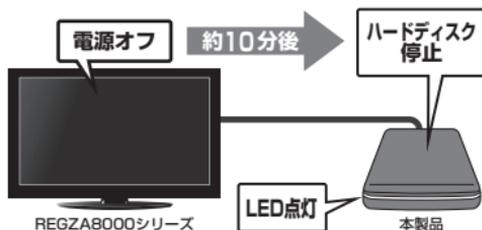
REGZA 8000シリーズ/9000シリーズ

※REGZA自体に録画機能がないモデルには対応しません。

電源オン/オフ時の本製品の動作について

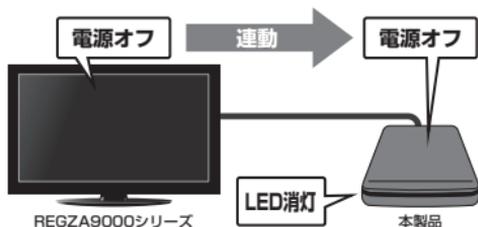
～REGZA8000シリーズでご使用の場合～

- ・REGZAの電源をオフにしてもハードディスクが回転し続けますが、電源オフ後、約10分で本製品のスリープ機能が働き、ハードディスクの回転が停止します（LEDは点灯し続けます）。
- ・REGZAの電源をオンにすると、ハードディスクの回転が再開します。



～REGZA9000シリーズでご使用の場合～

- ・REGZAの電源オフと同時にハードディスクの電源もオフになります。
- ・REGZAの電源をオンにすると、ハードディスクの回転が再開します。



省電力モード時の本製品の動作について (8000/9000シリーズ共通)

- REGZAの省電力モードをオンで本製品を使用すると、一定時間(約3分程度)アクセスがない場合ハードディスクの回転が停止します。このときLEDは点灯した状態になります。
- 録画やハードディスクの設定を開始すると、ハードディスクの回転が再開します。

※ハードディスクの回転が停止していても、待機電力を消費しますので、長時間ご使用にならない場合は本製品を取り外すことをおすすめします。



接続方法



※録画設定については、お手持ちのREGZAの取扱説明書をご確認ください。

〈録画時間の目安〉

画質モード/容量	160GB	320GB	500GB	640GB
地上デジタルHD (最大20Mbps)	約17時間	約34時間	約53時間	約68時間
BSデジタルHD (最大24Mbps)	約14時間	約28時間	約44時間	約56時間
SD画質 (最大8Mbps)	約42時間	約84時間	約131時間	約168時間

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下をお試しください。

- ・HDD/SSDが本製品のSATAコネクタに正常に差し込まれているか確認する。
- ・専用USBケーブルが正常に差し込まれているか確認する。
- ・パワーLEDが点灯しているか確認する。
- ・他のUSBポートがある場合、USBポートを変えて動作を確認する。

■CBL25U2からOSが起動しない

OS起動はサポートしておりません。

■パワーLEDは点灯しているがHDDの回転音がしない

配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

■転送速度が遅い

USB1.1ホストに接続した場合は12Mbps（理論値）となるため、高速な転送は行えません。あらかじめご了承ください。

■スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイに対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【Windowsでの使用方法】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- ・Windowsでお使いの場合→P.11【Windowsでの使用方法】をご確認ください。
- ・Macでお使いの場合→P.25【Macでの使用方法】をご確認ください。

■本製品を接続したままPCの電源を入るとOSの起動中に止まってしまう（Windows）

ご使用のPCによっては、起動時にUSB接続のHDD/SSDケースが接続されていると正常に起動しない場合がございます。

この場合はOSが起動しきってから接続を行ってください。

■500GBのHDDを接続したのに、認識される容量が465GB程度になってしまう

計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

・ **1MB = 1,000,000バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、パソコン上では、

・ **1KB = 1024 バイト**

・ **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

・ **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

と計算します。

たとえば500GBと表示されているドライブの場合、これを換算してみると、

・ **500,000,000,000 ÷ 1,073,741,824 = 約 465.666GB**

となり、35GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■HDD/SSDをセットすると上面カバーが閉められない

本製品は **9.5mm厚** のHDD/SSDが取り付け可能となります。

ご使用のHDD/SSDの厚みをご確認ください。

■PCMCIA、ExpressCardのUSBカード経由で動作しない

PCMCIA、ExpressCardのUSBカードでは電力不足で動作しない場合がございます。

ご使用のUSBカードに補助電源が接続できるかご確認ください。

■HDDの回転が不安定、または回転しません

USBハブなどを經由して接続を行っていませんか？

バスパワータイプのUSBハブを經由すると電力不足になり、動作しない場合があります。

直接USBポートに接続して動作をご確認ください。

【FAQ】

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。

ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象のOSとしては、

●Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP

●Mac OS 10.4以降

を対応OSとしています。

それ以外でのOSに関しては動作確認を行っておらず、サポート外、自己責任での範囲となります。

また、ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

Q：HDDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅します。故障ですか？

A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q：30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません（Windows）。

A：HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。

フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、P.11【Windowsでの使用方法】をご参照ください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{ふた}二^{おきな}翁^{はら}原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.